

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	水防訓練実施事業						担当部	市長公室							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	危機管理課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	危機管理係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		4 防災		1 防災意識を高める									
		副目的														
	予算区分	款	9		項	1		目	4		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	64 %			委託	36 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	台風や洪水期に備え、関係機関の協力を得て、地域の河川状況を勘察した水防訓練を実施し、水害による被害の軽減を図る。														
	内容 (手段)	<p>市職員、消防職員をはじめ消防団員、災害協定締結土木事業所、災害ボランティア、自主防災会、婦人消防クラブに参加してもらい水防活動に必要な基礎的な工法(積土俵、月の輪、築廻し、板柵土留、都市型水防工法)や炊き出し訓練を行った。</p> <p>【直接経費の内容】          消耗品・原材料費等(320千円)          水防訓練現場の除草作業委託(567千円)          仮設橋設置委託(294千円)          機材借上(386千円)</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,483	856	1,566	1,887	
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
			人件費	千円	797	797	797	797
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	2,280	1,653	2,363	2,684	
	対前年比	%		72.5	142.9	113.5		
財源	一般財源	千円	2,280	1,653	2,363	2,684		
	国・県支出金	千円	0	0	0			
	その他財源	千円	0	0	0			

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	水防訓練実施回数	回	目標		1	1	1
実績				1	1	1	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	水防訓練参加者数	人	目標	450	480	700	480
実績			450	480	700		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	計画どおり市職員、消防職員、消防団員、災害協定土木事業所、自主防災会、婦人消防クラブの参加を得て、訓練を実施することができた。出水期を前に水害対策への技能向上と意識高揚を図ることができた。
	事業実施における課題等	事業を縮小・廃止したときの影響	近年頻発するゲリラ豪雨による被害は内水氾濫が多いため、実際起こりうる水害に即した訓練内容の企画立案。また、水防訓練に参加していない職員を訓練に参加させるなど、職員への啓発をどのように行っていくか検討する必要がある。
	方向性の判定	判定理由	現状維持
今後の事業の方向性	改善案等	水防訓練は、水害対策への技能向上と意識高揚に多大な効果がある。この事業を廃止すれば、小牧市の水害に対する防災力は低下する。	近年のゲリラ豪雨による災害は発生頻度が高く、被害も甚大なものが増えてきている。水防訓練を行うことで、小牧市の水害に対する防災力を一層強化することが重要である。
		実際の水害対応に即した実用性の高い訓練内容に見直す。例えば、小牧市のどの地域が水害に弱いのかを視察し、保有する水防資機材の種類や配備場所を確認するとともに、応急対策に有効な工法の実習を行うことなどが考えられる。ただ、現在の訓練には市議会議員や区長、自主防災会長等に来賓案内を出し、多くの方が見学しているため、今後の対応が懸案事項である。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。常に実際の水害対応に即した訓練内容への見直しをしていくことが必要である。